

ウ 計画の進め方

21 - 40 緑化環境は即成でできるものではなく、最低 4～5 年を要する。緑化の取り組みは早い程よいので、会場及び周辺は先行した植栽の施工をお願いしたい。二次植林でよく、付近に適する樹種を数種選定して、地域住民とともに「ボランティア植栽」をしてはどうか。

《 見 解 》

今後、具体的な会場計画、工事計画等を検討する過程において、ご提案の趣旨を参考にさせていただきます。

21 - 41 環境にやさしい愛知万博をめざすためにも、「廃棄物のリサイクル化」、「ゼロエミッション」は重要な問題と考えるので、その目標と具体的な計画を示すことを求めます。

21 - 42 博覧会では、何の目的でどこをどのように行う(使う)のかが全く示されていないことが、根本的かつ深刻な問題だ。とりあえず、会場地として青少年公園を使うことになっただけである。地球環境が私たちの生活や生命を脅かし始めたいま、博覧会において、循環型社会と地球環境を守ることをどのようにして実践するかをはっきりと示さなければならない。

まだ時間はある。笹島地区を緑が豊かなゼロエミタウンとするような取り組みがこの博覧会でできるなら、それが 21 世紀に向けて都市のあり方の一つを名古屋から世界に発信することになれば、新しい博覧会の役割を明確に示すことにもなる。

《 見 解 》

本博覧会では「自然の叡智」のテーマのもと「循環型社会」のサブテーマを設け、現在の大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会システムを見直し、ゼロエミッション実現に近づけるために、

- ・ 廃棄物の発生自体を抑制する観点から、出展者等の事業者はもとより、来場者にも楽しみながら廃棄物の発生抑制に取り組んでいただくための EXPO ルール(ゼロエミッション編)の作成
- ・ 先進的な再資源化システム、リサイクル技術の導入
- ・ 飲料容器、食器類の再使用、生ゴミの堆肥化、紙類の再資源化など地域に協力頂きながら最終処分量を極力減少させるためのシステム構築
- ・ 周辺地域における環境配慮を促進し、地域全体でゼロエミッションを具現化するための EXPO ルールローカルイベント編の作成、エコホテルの認定、エコバリューの活用等

等を検討しております。

今後とも、これら取り組みについて幅広くご意見をいただきながら、成案をまとめていきたいと考えております。

21 - 43 環境にやさしい愛知万博をめざすためにも、「CO₂削減」は重要な問題と考えるので、その目標と具体的な計画を示すことを求めます。

《 見 解 》

本博覧会では、CO₂の排出量を削減するため、省エネルギーを考慮した建築手法や低公害バスの利用、太陽光発電や燃料電池等の新エネルギーを会場内に導入することを検討しております。

また、会場外においても博覧会を契機として周辺地域に新エネルギー導入を促進できるような仕組

みについても検討しております。

21 - 44 エコシステムアプローチの 12 原則を忠実に守り、全ての関係者の合意の下に会場計画案の抜本的見直しのハンドルを切ることが望まれる。(他に同趣旨 1 件)

《 見 解 》

エコシステムアプローチの 12 の原則を博覧会事業にできるだけ活かすよう努めてまいります。

21 - 45 ライフサイクルアセスメントを重要視していただきたい。

《 見 解 》

博覧会事業の企画・設計から撤去工事までの各段階において、ライフサイクルアセスメントの考え方に留意して、環境負荷が低減されるような取り組みの検討を進めております。

21 - 46 万博事業の実施により、愛知県環境基本計画に示された環境計画の達成が困難になるものがあるが、基本計画との整合性はどのように図られるのか。

《 見 解 》

博覧会においては、愛知県環境基本計画の趣旨を踏まえ、環境影響評価を適切に実施するなど環境の保全に十分配慮することはもとより、廃棄物の処理量の最小化を目指すなど、循環型社会のモデルを提示することができるよう検討を進めております。

21 - 47 会場周辺地域が乱開発されないよう防止策を講じる必要がある。

青少年公園の北及び西の田園・丘陵地帯は、緑豊かな地域として残すべき一帯である。私設駐車場などで乱開発されることのないよう、その対策も計画中に盛り込まれるべきものと考えます。(他に同趣旨 1 件)

《 見 解 》

ご意見の趣旨を関係機関に申し伝えます。